

3年健康教室～『医薬品と健康』～から

10月19日（月）総合的な学習の時間に、第一体育館で、本校学校薬剤師の前東憲子先生を講師に迎え、『医薬品と健康』についての講演をいただきました。講演の内容は、一般用医薬品と病院で処方される薬の違い、ジェネリック薬品について、薬は身体にとって異物であるため副作用というリスクが伴うこと、薬とは身体が弱った時にその力を借りて自然治癒力を上げるためのものだということが、あくまでも薬に頼らずに運動・食事・睡眠の健康三原則を守り、自然治癒力を高めておくことが必要であることについて伺いました。また、15歳までは小児用の薬を服用しなければならない理由や、薬には正しい飲み方があり、コップ1杯の水をぐくぐく飲むことでしっかり薬を胃に落とし込む必要があることなど、多くの気付きがありました。講演後には保健室にて、3学年の薬学部受験生徒が、薬剤師の仕事や薬学について質問を行い、受験準備にむけてご助言いただきました。

